

施設・事業所のための リスクマネジメント研修 開催要綱

趣旨 施設が利用者またはその家族に被害を与えないためのリスクマネジメントは、介護事故の予防以外にも多岐にわたっているのが現状です。職場内に潜む様々なリスクを把握し予防する能力や、発生してしまった危機に適切な対応をする能力を高めることが重要であり、適切なリスクマネジメントが、施設の信頼を高めることに繋がります。

本研修は、施設や職場におけるリスクマネジメントの実践やコンプライアンスの考え方、トラブル発生時の対応について学び、安定した事業活動を図っていくことを目的に開催します。

1. 施設・事業所に求められる安全管理体制について体系的に学べます

実際の介護事故・保育事故について理解を深めるとともに、事故予防・再発防止の取組みを進めるにあたって必要な知識を体系的に学べます。

2. 事故発生時の対応とその後の再発防止について具体的に学べます

事故が発生した際の、利用者本人や家族、対外的な対応や、事故を未然に防ぐための適切なリスクマネジメントの実践、コンプライアンスルールの確立について具体的に解説します。

3. 所属や興味・関心に応じて分科会を選択できます

分野別の分科会を設定しているため、施設種別に応じて、それぞれの特性を踏まえた事故防止に求められる視点について、理解を深めることができます。

開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

対象

高齢者施設・障がい者施設・保育施設等の経営者、管理的立場の職員等
介護保険施設において安全対策担当者を担う方（予定の方を含む）

*その他の公益法人等が経営する社会福祉施設・事業所等の職員の方も受講可能です。

配信期間

令和6年7月10日（水）～8月30日（金）

申込期間

令和6年5月10日（金）～6月7日（金）

研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

受講決定

令和6年6月14日（火）までにご連絡します。

プログラム

時間	研修科目	研修内容
約 60 分	講義 1 「リスクマネジメントの目的と求められる背景」	リスクマネジメントの定義を理解し、施設特有のリスクの理解及び介護保険施設における安全管理体制と安全対策担当者の役割など、リスクアセスメントのポイントを学びます。
約 60 分	講義 2【第 1 分科会：介護分野】 「介護現場における事故の内容」	現場事例をもとに、どのようなときに事故が起こりやすいか、事故の内容を理解するとともに、予防するための留意点や仕組みを学びます。
約 60 分	講義 2【第 2 分科会：保育分野】 「就学前施設の事故防止について」	内閣府データでは、令和 4 年の就学前施設における事故報告件数は 2,461 件と増加傾向にあります。ここでは、子どもたちが安全に過ごせる環境を提供するための、事故防止活動の進め方のコツを学びます。
約 60 分	講義 3【第 1 分科会：介護分野】 「事故発生防止に必要な取り組みと事故発生時の対応」	事故発生防止に必要な取り組みを理解し、予想される介護事故や事故が発生した際の対応および改善策について学びます。
約 60 分	講義 3【第 2 分科会：保育分野】 「就学前施設の不適切保育・虐待防止について」	保育施設で相次いで起きた園児への不適切保育や虐待は、先般、保育施設等を対象に国の実態調査が行われるなど喫緊の課題です。ここでは、発生の背後にある要因や未然に防ぐための防止策について考えます。
約 60 分	講義 4 「組織的にリスクマネジメントを行うポイント」	福祉施設におけるリスクマネジメントを組織的に整理するとともに、利用者・家族に対する説明責任をいかに果たしていくか等、コンプライアンスルールの確立とその実施体制の構築を目指します。

※本研修は、対象施設〔特別養護老人ホーム、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護療養施設サービスなど〕における安全対策担当者が受講することが求められている安全対策体制加算対応の「外部の研修」に該当します。

※詳細については、所轄行政担当所管（北海道、札幌市、中核市等）あてお問い合わせください。